



『保育ナビ』
ダウンロード資料



見直すための 10の視点

ルーティン業務
から脱却!

保育の
“あたりまえ”
見直し術

- 1 相手目線、ニーズ発見：相手の立場から考えることです。**
「相手が本当に欲しいものは?」「よかれと思ったことが相手の負担になっていない?」
- 2 当たり前、全部リセット：自分がもつ当然・常識を疑うことです。**
「それは本当に当たり前?」「この常識は誰が決めたもの?」
- 3 数字が語る真実：数字を使って客観的に考えたり効果を測ったりすることです。**
「その言動の根拠となる数字は?」「客観的な証拠はある?」
- 4 最終地点から逆算せよ：目的・ゴールから考えることです。**
「そもそも何のためにやる?」「この仕事は目的達成につながる?」
- 5 AI で時間、倍速化：生成 AI を様々な場面で積極的に使うことです。**
「AI はどの仕事を代替できる?」「AI で効率は何倍になる?」
- 6 足し算より引き算：いまやっていることをやめる・なくすことです。**
「やめるべきことは何?」「何を手放すと速く終わる?」
- 7 あれこれを一本化：複数の活動や仕事を1つにまとめることです。**
「まとめてやることはできない?」「『一粒で二度おいしい』にするには?」
- 8 シンプルこそ最強：いまやっていることを簡単・簡素化することです。**
「もっとシンプルにすると?」「1ステップ・1回で終われない?」
- 9 問いを変えれば世界が変わる：解くべき問題を設定し直すことです。**
「問いの設定はこれで正しい?」「本当の問題はどこにある?」
- 10 立っている者は親でも使え：様々な人を活動や仕事に巻き込む・代替することです。**
「他の人を巻き込めない?」「だれかに代わってもらえない?」

みんなでつくる園の未来!

保育ナビ